

# 認知症介護家族の声

「認知症家族の交流会」の参加者に話を伺いました。

家族が認知症と分かった時はどんな気持ちでしたか。

家庭で介護していくために大切なことは何ですか。

●Aさん 介護の経験があったので、心構えができていましたが、ほかの同居家族が状況を受け入れるのに時間がかかりました。

●Cさん 自分が元気でないと、人の介護はできないので、自分を大切にすることです。交流会でも、「介護サービスなど利用できるものは利用して、自分も大事にしないとね。」と話しているんですよ。

●Bさん 夫が60代初めで認知症になり、とてもショックでした。できないことがだんだん増え、悲しかったです。

●Aさん 私は幼い子どもと義母を同時に世話しなければいけませんでしたが。友人が「がんばらなくてもいいんだよ。」と言ってくれて、助けを求めることができました。

●Cさん 生活の中でおかしな行動があり、病院で診てもらって分かりました。認知症は誰もがなるものだと思いますので、あまりショックはなかったですね。

●Aさん この病気はムラがあります。家族以外の人と話す時はしっかりと対応できることが多いです。だから、近所の人にはあえて認知症であることを伝えるようにしています。

一番大変なことは何ですか。

●Cさん トイレの世話です。紙パンツを嫌がってしてくれないので、掃除や洗濯が大変です。

●Bさん 「介護サービスを利用して無理しないように。」と子どもが身体のことを心配してくれたことです。

●Aさん 私も紙パンツを嫌がられます。

●Cさん 認知症のことを知られるのが恥ずかしくて隠していました。近所の人から心配して声をかけてくれて、「病気だから隠す必要はないよ。」と言ってくれました。

廊下にお漏らしをされ、家の中に臭いが広がるので、お客さんを呼ぶなくて困ります。

地域の方にとってほしいことはありますか。

●Aさん お年寄りを外をふらふら歩いている時には、声をかけて家に帰るよう促してくれるとありがたいです。そして、心配な様子を見かけたら教えてほしいです。

## 認知症家族の交流会

【とき】 第3回 午前10時～11時30分

## 認知症支援講座 ※要申込

【とき】 9月～令和5年2月 第3回  
午後1時30分～3時30分

## 【共通】

【ところ】 市役所北棟集会室

【対象】 認知症の方を介護している家族

【問合せ先】 健康推進課 ☎67-1151

地域の方にとってほしいことはありますか。

